

## 台湾ネイティブヘルス公司開設

台湾ネイティブヘルス代表取締役 皆川榮治

以前にも書いたことがあります。病気の治癒には3つの方法があります。それは一 (1)自然治癒(2)医学による治癒(3)祈りによる治癒の3つです。が、これに加え19年前、私は(4)生野菜食と腸マッサージによる治癒を新たに知ったのです。台湾で長年患っていた糖尿病や心臓病、肝臓病、癌が治るのを見たのです。これは驚きでした。実に19年前のことです。

現在私は台北で経営コンサルタントの仕事を営んでいますが、この度本年9月頃から台湾・台北市の事務所を使って生野菜食整腸法の仕事を始める予定です。その発端は以前、楊仙友先生の台湾診療所におられ、高弟として活躍しておられた劉堯さんが昨年10月、弊社事務所に来られ「復帰したい」旨お話があったのが始まりです。劉さんの居所を探して私の方から呼びかけたものですが、彼はもう5年前に菜食整腸の仕事をやめ、育児に専念しているのです。台湾では育児もライセンスの要る仕事です。

そこでこれからしばらく準備期間をおいて弊社事務所を改造し、今までの教室と兼用で施術室に使うつもりです。台湾では5年前に劉さんがやめて以来、この療法を行う人がいませんでした。台湾の生活習慣病の方に心の安定と病気の癒しを伝えたいと考えています。もう一度劉さんの手のひらが動き始めます。

さて、ネイティブヘルスはすでに一昨年の15周年記念を経て、更に今年で17年になりますが、そもそも台湾でこの健康法を知った始まりは、19年前私と楊仙友先生との出会いです。1998年の2月、病気で会社を辞めていた会社の女子事務員から1年ぶりに電話が

あり、「先生、ご紹介したい方がいます」と言い、台北の路上でお会いしたのが最初の出会いでした。爾来何度か楊先生の診療所に通い、生活習慣病が治る状況をつ



ぶさに見せていただきました。上述のように病気を治すには4つの方法がありますが、(1)の自然治癒は生活習慣病の場合、ときには治癒することがありますが極めてレアケースです。時には誤診のこともあります。(2)の医学による治癒は特に生活習慣病の場合は、時間もお金もかかり、副作用を伴うこともあり、信頼性が低いのが実態ですが、一般にはこれに頼らざるを得ないのが実情です。(3)の祈りによる治癒は完全治癒するケースがあります。がその確率は大変少なく経験では50人~100人にひとりの割合です。私の今までの経験からも完全治癒は3人です。膵臓癌と腰痛と赤ちゃんの高熱と引きつけです。頭痛くらいなら簡単に治りますが重い生活習慣病の場合は簡単には良くなりません。心に平安と安提をもたらすのが特徴です。

以上に比べ、最後の(4)生野菜整腸法の場合、時間とお金と継続心が必要になりますが、確実に治るのが特徴です。ただし真面目にこの療法を継続する安定した心が不可欠だと思います。一定期間の信頼心が必要で、結論から申し上げるなら、生野菜食整腸法は自ら治そうとする人には最適です。

台湾でお会いしましょう！

病気の癒しは心の安定を伴います。(以上)

# 臆さなければ、明日はある

## ～長年の精神障害という苦しみから抜け出して～』

賛助会員 T子 (神戸市在住 22 才)

イラスト 筆者本人画

### <はじめに>

私がネイティブヘルスを初めて知ったのは、母が購入した皆川容子先生の「菜食整腸の奇跡」の本でした。

母が実際に施術を受け、「これはあの子が変わるきっかけになるかも知れない」と考え私を連れ出すきっかけを探していました。

そして約1年後、私を家から連れ出してくれたのです。

この母の行動と、向かった先に待っていたものが、長年に続く苦しみを乗り越える大きな一歩と変化をもたらしてくれました。

### <小学5年生の時、異変が>

今からさかのぼること12年前、当時小学5年生だった頃の出来事です。

私は、元々学校へ通うことが苦手であり、一人別の教室で自習を行っていました。

そんな学校生活を続けていたある日の夜、突如強い吐き気と不安感に襲われたのです。

特別思い当たる大きな原因はなく、身体が弱いわけでもなかった分、その逆らえないほどの苦しみに混乱を覚えました。

病院では、はっきりした病名は告げられずに、1週間で退院しました。



吐き気と不安に襲われる

退院してからも症状は続いていましたが、年月を重ねる毎に少しずつ落ち着きを取り

戻していきました。

不登校ながらも教育相談室に通い、親と共に外出したりと、先は見えないながらも「いつかは普通の人のような生活を送れるようになるかも知れない」と思い始めていました。

ですが、中学三年となる春、望んだものとは真逆の変化が私に訪れました。

再びあの日の苦しみに襲われたのです。小学生の頃と比べ、考える力が昔より備わっている年頃だったのがかえって仇となり、一秒先の未来にすら不安を感じてしまうようになりました。

その二度目の苦しみは何年も引きずる事となり、食事や他人との接触は、恐怖を連想させ、外へ出ることもままならない状態になったのです。

それからは高校へ入学することもなく、可能な限りは家に引きこもり、不安感を一時でも忘れさせてくれるゲームやアニメに走りました。

その中でネット上に人との交友関係を築き、解決策の見つからない現実から離れることによって、少なからず体調はいい方向へと変わり始めました。

### <ネイティブヘルスへ通う>

ここで冒頭へ話が戻りますが、少しずつ改善を見せている私の体調を知っていた母が私を連れ出してくれたのです。

足を運んだのはネイティブヘルスでした。平成27年の初春だったと思います。

初めての場所というのは、私にとって「恐ろしいもの」という認識は変わらず、食事を摂ると聞いた時は強い不安に駆られました。

ですが実際に行ってみると、想像していたような不安は訪れませんでした。

初めてお会いした皆川先生と今田先生は私を温かく迎え入れて下さり、今まで食べたことがなかったローフードは、意外にも美味

しく頂くことができ、初めての施術はとて  
くすぐったかったのですが、決して不快な  
ものではありませんでした。

そこで、少しこれを続けようと思ったので  
す。

### <母の助言で研修を>

施術に通い続けてしばらく経ったある日、  
母は私にこのような提案を出しました。

「腸もみの資格を取ってみない？」と。

学歴も乏しく資格どころか自信すらない  
私には難しいのでは、と当然思いました。

一度躓くと簡単に諦めてしまう性分であ  
るため尚更です。

それでも母は、こんな自分でも資格が取れ  
たら自信が持てるかも知れないし、何か仕事  
に繋げられるんじゃないか、と私を思いやっ  
てかけてくれた言葉でした。

普段の私ならきっと「やりたくない」の一  
言で諦めていましたが、二十歳を超えた今、  
自分でも無意識に何か変化を求めていたよ  
うです。返事は「やってもいい」でした。

それからは母と車で六甲サロンに通い、先  
生に実技や講義などの時間を設けて頂きま  
した。

始めは手の角度や速度といった基本的な  
ところを分かりやすく教えてもらい、講義も  
分かりやすく、普通の勉強をしてこなかった  
自分でも「これならやっていけそう」と感じ  
られました。

実技や講義の他にも調理実習を行い、その  
中でも生のジャガイモを美味しく食べられ  
る調理法に驚いたり、独特の舌触りと甘さの  
バランスが癖になるバナナロールが好きに  
なったりと、学びながらも楽しい時間があり  
ました。

### <良い兆効を自覚>

それからは気候の変化でお休みする事が  
ありましたが、昔と比較してみると家族以外  
の人と接する時間が増えて、ベリータッチを  
受け、学び始めた前と後では、身体も心も変  
化していました。

他人と同じ空間にいても昔ほどの極度な  
緊張はなくなり、固かったお腹もほぐれ、お  
通じもよくなり、良い事のほうが多いくらい  
です。

### <電車に乗るという挑戦>

そして、私が笑顔を浮かべる事が増えてき  
た時期、皆川先生が一つの提案を出してくれ  
ました。

その提案とは、「母に車で送迎をしてもら  
わずに、今田先生に付き添ってもらって電車  
でサロンへ通ってみる」、といった内容でし  
た。

例にもれず一気に不安は押し寄せてきま  
しましたが、今田先生に協力して頂き、親の同伴  
なしで先生と一緒にサロンへ行く事となり  
ました。

長年、外出は母の車で以外はしなかった私  
です。やはり少し緊張はしていましたが、一  
人ではないという安心感からか、想像よりも  
すんなり達成できたのです。

大袈裟なようですが、私にとっては本当に  
大きな出来事でした。

これまではどこへ行く時も必ず親と共に  
行動しておりましたし、万が一パニックを起  
こしたら……といった不安をそれでカバー  
してきたので、この挑戦は確実に自分が変化  
している事を明らかにしました。

### <新たな挑戦で、自分の成長を確認する>

そんな 一步を踏み出した私ではありまし  
たが、この後、さらにもう一段階踏み込む出  
来事が待っていました。

それは、今田先生と一緒に電車とバスを乗  
り継いでサロンへ通い慣れた頃、今度は全く  
一人でサロンに行き来をしてみるといった  
挑戦です。

移動手段をいくつも変えながらでない  
とサロンへは辿り着けないため、これまでと違  
った不安要素が新たに出てきました。



緊張しながらも一人で電車に

皆川先生は「もし何かあればすぐサポートできる距離に、いつも今田先生が付いているので、安心して一人で行動を。」と言ってくれました。

それまで今田先生と培ってきた電車やバスでの移動経験が活かされ、途中緊張しながらも無事に乗り切ることができました。

私だけではどうしても挑戦しきれなかった事を、先生方に背中を押してもらい、初めて成し遂げられたのです。

改めて自分の成長を感じたと共に、人は人に支えられて生かされ、進んでいけるんだなあと身に沁みました。

### <仕事を始める>

それからベリータッチで沢山の事を学ぶ時間を設けて頂きましたが、猛暑を迎える季節に体調を崩しやすいので、再び休止期間を取る事となりました。

そして、その期間中のある日に、家族から仕事を始めてみないかとの話を持ち掛けられました。

私は、休止期間が何度かあっただけに「早くベリータッチの資格を取らなきゃ……」との焦りが心の中で燻り、その上、働く事への不安も拭えないため、すぐに返事が出せなかったのです。

ベリータッチと仕事との間で頭を悩ませ続けていた時、母は私に声をかけました。

「資格を取れば自信に繋がるって言ったけど、あなたはもうこんなに元気になれたね。お母さんも家族みんなも本当に嬉しいと思っているよ。だから、あなたが一番やった方がいいと思う事を今選べるんじゃないかな」

私はその言葉を聞き「ああ、私はちゃんと変わる事が出来ていたんだ」と、強張っていた肩からふと力が抜けるのを感じました。

それは心の燻りが消えた安心感なのか、己の今いる地点を自覚したからなのか、当時ははっきりとは分かりませんでした。

でも私は今、仕事をしています。日々身体を動かす事のしんどさと共に、仕事をやり遂げた気持ちのいい疲労感を、その身で初めて理解したのです。

普通の人が立っている場所に、私はやっと己の足で踏み込む事が出来、このような日がやってくると一年前の私には到底想像もつかない展開でした。

幸いにも仕事に精神的な苦痛を感じず、こ

の先も頑張っていけると言ってしまう程の自信すら沸いています。

今この瞬間を迎えられたのは、母がもたらせてくれた 出会いと、先生方の温かくも確実に背中を押してくれた応援と、ベリータッチという人の心と身体を支え変えてくれる素晴らしい技術のおかげです。

### <未来に希望を！>

私はこの先の未来に、希望を持つ事ができました。そしていつの日か昔とは違う、新たな困難に立ち向かわねばならない日がやってくる事もあるでしょう。ですが、人というのはいつもどこかで変化を求め、進む力というものを必ず秘めています。

私が実際に変わったように、大きな壁が目の前に立ち塞がったとしても、それはきっと乗り越えられる壁であると、私は信じています。



見違えるようになった現在の私

以前から、絵を描いているとはお聴きしていましたが、こんなにも素敵なのが出来上がってきて、びっくりしました。

もし皆さんの中で、挿絵が必要になった時には、是非お声掛けして下さい。

私の方から依頼させていただきます。この才能を応援したいと思います。(皆川)

# 愛と勇気と自信が人生を変えた

～T子さんに寄り添って～

指導員今田美代子

お母様とご一緒に初めてサロンに来られたT子さんは、じつとうつむいたまま、何処となく不安そうな表情で、こちらの質問にも全てお母様がお応えになるという状態でした。家族以外の人に接すると吐き気がするということでした。

「施術中に気分が悪くなりパニック状態になるかも知れない。その時には即、中止して下さい」とお母様が仰られました。

しかし、50分の施術は何事もなく終わり、「如何でした？」と訊ねると「少しくすぐったかったが、気持ちよかったです」と言われました。

施術前には一言も発せられなかったのが、ご自分で意思表示をなさったことに、やはり腸を揉むということは何かを変える力が湧いてくるのだ、と再認識しました。

その後毎週2回通って来られ、ご自宅でもローフードの食事を続けられました。次第に、堅かった腸も柔らかくなり、表情にも明るさが出てきて、ご自分の意志を伝えられるようになってこられ、笑顔も出てきました。

有る日「研修をしたい」とのまさかの言葉に「やったッ！」と、初めての出会いからの変わりように、喜びを隠せませんでした。

今までは、お母様がずっとつきっきりでしたが、研修を始められてからは、送迎のみお母様にお願いして、実技、講義、調理実習等の研修中はずっとお一人でこなしていかれました。その間、他のお客様とも会話をするようになってきました。笑顔も増え、緩慢だった動作もテキパキとなさるようになったある日、皆川先生が「お

母様の送迎をやめて電車で通えるようにしましょう」と提案し、序々に社会人としての普通の生活ができるように、一步踏み出すことを奨められました。

私が付き添っての往復ですが、長年、公の交通機関を使った事が無いので、初めての電車では非常に緊張されていましたが、日を重ねるうちに少しずつ周りの様子にも慣れ、電車の中でも会話をするようになってきました。

そしていよいよ一人歩きです。

これは、ご本人にとっては大変な勇気と決断だったことと思います。私も心配しながらそっと後をつけ、見守っていきました。

見事に成し遂げられたのです。

皆川先生は、一度に手放さずに、様子を伺いながら機会を見計らい、今なら大丈夫と、本当に **good timing** で一人立ちできるように導かれました。

お母様の愛情こもるアドバイスもあり、一寸背中を押すだけで、勇気が出て、一人で出きる自信が出てきたのです。

愛と勇気と自信が人生を変えました。こんな素晴らしいことはありません。

この仕事は、こんなに素晴らしい喜びを与えてくれるのだ、ということ再認識したことです。本当に嬉しいことです。





《日本の心にふれる旅》

# 手筒花火観賞会（豊橋）

## 申し込み受け付けのご案内

花火の火薬を入れた大筒を抱えたまま点火する、勇壮な手筒花火  
打ち上げ花火は全国何処にでもあります、この手筒花火は数少ない珍しい花火です。  
一般席は、大変混み合って十分鑑賞ができないということです。  
そこで、指定観覧席（栈敷席）を予約購入するため、今から申し込みを受け付けます。  
一泊二日の予定ですが、かなり遅くなりますが大阪方面へは日帰りも可能です。（下記参照）

開催日時	2017年9月9日(土) 点火 19:00
開催場所	愛知県豊橋
集 合	JR豊橋(新幹線)予定
宿 泊	蒲郡温泉予定
参加費	15,000 円～20,000 円予定(ご自宅～豊橋間の往復交通費は、各自負担頂きます) 日帰りの場合：5,000 円予定
申し込み	ネイティブヘルス 電話:06-4802-6880 FAX:06-4802-6881

### 《新幹線参考資料》

- ① 大阪～ ひかり 522 新大阪 13:16 発→豊橋 14:46 着
- ② 東京～ ひかり 517 東京 14:33 発→豊橋 15:58 着

### 日帰りの場合の帰りの新幹線

★豊橋～花火会場は、交通規制のため路面電車を利用しますが、帰りの混雑状態により、  
時間が読めませんので、花火終了前に会場を出発することをお勧めします。

#### ◎大阪方面

- 1 案 こだま 683 豊橋 21:45 発→名古屋 22:15 着 (のぞみに乗り換え)  
のぞみ 425 名古屋 22:23 発→新大阪着 23:13 (新大阪止)
- 2 案 ひかり 535 豊橋 22:13 発→新大阪 23:29 着 (新大阪止)

- ◎東京方面、 こだま 690 豊橋 21:27 発→浜松 21:44 着 (ひかりに乗り換え)  
ひかり 538 浜松 21:59 発→東京 23:26 着



知識（チ）からだ（カ）こころ（コ）の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師（敬称略） 演題	会 費	備 考
4月23日（日） 13:30-	皆川 容子（コンベンションセンター） 「腸内細菌を良くするための腸活性」	無料	三宮 別紙参照
4月 8日（土） 15:00-17:00	あしたば会総会並びに 指導者研修会		認定指導員 梅田
4月29日（土・祝）	日本の心にふれる旅 一日ツアー 「数寄屋造の永々棟と豆腐料理」		京都 下記参照
5月20日（土） 14:00 ①～③ ? 15:30 ④～⑤ ? 17:00	宇津江 信夫・欣子 「救急救命講習：AEDの使い方」※ ① 119番通報の仕方 ② 心肺蘇生法（人工呼吸） ③ AEDの使い方（以上入門コース） ④ 気道異物の除去 ⑤ 止血など（①～⑤受講で修了証授与）	会員 無料 一般 1000円	甲東園 ※下記参照
6月17日（土） 14:30-16:00	北出 篤夫 「オルゴン療法について」	会員 無料 一般 1000円	梅田 8頁参照

予定は、変更する場合があります。 前日までに必ずご予約してください

問合せ・予約 電話06-4802-6880 FAX06-4802-6881

## 4月29日（土・祝）『数寄屋造のわぎ・永々棟と豆水楼』

### 「永々棟」

大正15年築、元日本画家・山下竹斎の邸宅を数寄屋大工の棟梁・山本隆章氏が腕によりをかけて再生。茶室（聚楽庵）や座敷だけでなく、天井、床、柱まで工夫を凝らしていて、見どころがいっぱい。木造2階建て 約300㎡

### 「豆水楼・木屋町本店」

築100年を越える町家、元料理旅館だった名残が色濃く、坪庭には弁財天の“ほこら”がそのままある。

献立は、おぼろ豆腐、青豆腐、小豆生麩などの他、旬の素材や季節感を大事にしている伝統的な京料理。

**参加費** 4,300円（昼食・永々棟入館料（茶菓付）・タクシー代等）

**集 合** 京都：京阪「三条」改札口 午前11時50分

**定 員** 10名限定

**申込み** ネイティブヘルズ ☎06-4802-6880

（定員になり次第〆切ります）

## ※5月20日（土）「AEDの使い方」は

①～③の入門コースだけでも受講可（修了証なし）

①～⑤の全コース受講すれば、

「普通救命講習修了証」が授与されます。



## 《講師プロフィール》

宇津江 信夫・欣子（うつえ のぶお・きんこ）

信夫 西宮在住 甲南学園（幼, 中高, 大学）卒

’95 大阪市消防局応急手当普及員認定 ’98 日本防災士機構防災士資格取得

’07 西宮市 ’11 神戸市各消防局応急手当普及員

欣子 西宮在住 甲南女子学園（幼, 中高, 短大）卒

01 より地域の防犯・防災部長を務める ’06 防災士資格取得、西宮消防局応急手当普及員認定 ’08 神戸市、’10 姫路市・篠山市 各消防局応急手当普及員

’07 より夫婦で「西宮応急手当グループ」を立ち上げ各地で講習会を開催

西宮市消防局から表彰、西宮コミュニティー誌に活動状況掲載、サンテレビの取材を受ける。17年3月西宮消防局より感謝状を授与される

北出 篤夫（きたで あつお）

大阪市生まれ’64 大阪府立大学工学部機械工学科卒業 株式会社小松製作所大阪工場勤務

’65年日本政府（総理府）より日本青年海外派遣団員として中近東に派遣

’73年通産省情報処理研修センター（通称情報処理大学院）卒業 ’81年同社退職、ビジネスサービス社（現エムケイビジネスサービス株）設立 各種コンピュータ・ソフトウェア作成 現在に至る ’07年NPO法人ネイティブヘルスにて整腸法認定・菜食整腸認定指導員、あしたば会副会長 ’12年私設図書館「馬杉文庫」開設 館長

著書 「夫婦の愛」「川柳はこころの底に火をともし」

### オルゴン療法について

今から5年前のことですが、図書館で「最後の望みにかけた人々の記録」という本に出会いました。それがオルゴン療法との出会いです。読んでみると千島学説に沿った所があり、今まで思いもしなかった新しい物理学療法でした。早速主催者の越野 稔さんに教を乞いに愛媛県に数回伺いました。体験すると血流を良くする事と血液のサラサラ化に主眼を置いて、抹消血管の流れやリンパの流れの改善と抹消神経を良くする事を目指している事が分かってきました。療法は簡単で、比較的安価で、当然ながら薬を飲まないから薬による副作用が無い上に痛みを和らげる面では即効性があるといった事も体験を通じて知りました。自分が主治医という考え方がありますが、まさに当てはまる療法だと思います。多くの方に知って貰いたい日本独自の発見だと思います。

### あとがき

ついこの間新年号をお届けしたと思っていましたのに、もう花の季節になりました。

今年は、新年早々とても嬉しいことが有りました。

既にこの会報の記事をお読み頂いたことと思いますが、とても美しくお元気になられた方がお母様とご一緒にご挨拶に来て下さったのです。

初めて六甲サロンにいらした時は、失礼な言い方を許していただけるなら、ぼってりとしたからだつきで表情も乏しく、どんよりした雰囲気でした。その方が別人のように引き締まった体型になられ、表情も豊かに話され、とても美しくなられたのです。

小学生以来外出はお母様の車のみで電車には乗ったことが無いので、「自宅からの最寄りの駅も知らない、切符の買い方も分からない」ということで、「これは大変だ」と思いました。

でも心配はしませんでした。過去に、長年、重症な精神障害で何十回リストカットをしては入退院を繰り返していた方が、見事社会復帰され、結婚なさり母親になられた方が居ます。

「絶対にお元気になっていただきたい」の一念で、ゆっくり、じっくりお付き合いさせて頂きました。その結果、見事社会復帰なさった様子に、最後の仕上げとして、「暗い過去を清算して明るい未来へのスタート」として文章にまとめることをご提案しました。初めは躊躇なさっていましたが、素晴らしい原稿が届きました。しかも素敵なおイラスト付きです。

ご本人のガンバリもさることながら、お母様の愛が見事花開きました。私たちは、そのお手伝いをさせて頂くことができ、本当に嬉しいことです。

「NHのお陰で仕事ができるまでになりました。」の言葉に最高の喜びを頂きました。

最近、会員も減少気味で頭を悩ませていましたが、勇気百倍、「喜んで頂くのが私たちの仕事」、応援して下さい方がいらっしゃる限りは頑張らなきゃ、と思う昨今です。 y m